

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年9月4日

【評価実施概要】

事業所番号	2390300016		
法人名	メディカル・ケア・サービス東海株式会社		
事業所名	グループホーム 「憩いの里」 清華		
所在地	名古屋市北区三軒町217番地 (電話) 052-902-6601		
評価機関名	福祉総合調査研究機関 株式会社ヤトウ		
所在地	名古屋市中区金山一丁目8番20号 シャローナビル7A		
訪問調査日	平成19年6月19日	評価確定日	平成19年9月1日

【情報提供票より】(平成19年5月28日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成	18年8月1日
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計 18 人
職員数	12 人	常勤 11人, 非常勤 1人, 常勤換算 人

(2) 建物概要

建物構造	木	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(120,000 円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	350 円
	夕食	450 円	おやつ	円
	または1日当たり		1,050 円	

(4) 利用者の概要(平成19年5月28日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名	
要介護1	7名	要介護2	4名			
要介護3	5名	要介護4	1名			
要介護5	0名	要支援2	1名			
年齢	平均	79 歳	最低	65 歳	最高	88 歳
協力医療機関名	医療法人榊原内科診療所・村上記念歯科医院					

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは住宅地域にあり、2階建てで落ち着いた色彩の建物である。玄関には、行事の写真が掲示されている。入居者は、音楽療法としてハンドベルを行っている。今は、手で拍子をとることが多いが、今後は色々な楽器を使いリハビリにつなげていきたいと考えている。また、入居者の反応を見ながら、音楽以外の分野にも発揮し、できるだけ認知症が進まないようにと考えている。地域の自治会長が「夢道場」を開いており、曜日により絵手紙、カラオケ等があり子ども達や誰もが自由に参加することができ、入居者の楽しみの一つになっている。今年は近隣の協力を得て夏祭り(露店の出店)の計画をしている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	初回のため前回の評価なし。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は全職員が取り組み、管理者がユニット毎にとりまとめた。まとめた自己評価については、職員に報告されている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議のメンバーは、自治会長、ホームの家主、区役所の職員、入居者、入居者家族、ホーム職員となっており、積極的に参加を呼びかけた。区役所の方は忙しいこともありなかなか参加できないことから、ホームにきているボランティアの方に参加してもらえよう依頼している。現在2回開催しており、会議の場で議題をたて、議題に対して、ホームから説明をしたりメンバーから意見をもらい討議している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	以前は意見箱をホーム内に設置していたが、家族は来訪時に直接、管理者に話していることから、現在は設置していない。年1回、家族会を開き意見を聞く機会を設けている。また、苦情相談機関として、ホームの担当者以外に法人の本部事務局相談担当も重要事項説明書に明示している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に加入しており、回覧板を活用しホーム便りを地域の方に見てもらっている。近隣に「夢道場」という子どもや高齢者が集う場所があり、希望者は参加し、交流している。自治会より敬老会に招待されたり、近隣の施設の夏祭りに参加した。日常の買物や散歩時に地域の方と挨拶を交わし関係づくりに努めている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「ゆとりある生活の中で地域と共に成長していける清華」「音楽の流れと笑顔のあふれる清華」を理念としている。BGMとして常に音楽が流れ、歌やハンドベル等、ケアの一環として音楽療法を楽しみながら地域の中でその人らしく生活していくことを支援している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	法人の理念とホーム独自の理念は玄関や事務所に掲示されている。朝の申し送り時に、職員全員で唱和し確認し合っている。理念に沿ったケアの実施に努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しており、回覧板を活用しホーム便りを地域の方に見てもらっている。近隣に「夢道場」という子どもや高齢者が集う場所があり、希望者は参加し、交流している。自治会より敬老会に招待されたり、近隣の施設の夏祭りに参加した。日常の買物や散歩時に地域の方と挨拶を交わし関係づくりに努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の自己評価は全職員が取り組み、管理者がユニット毎にとりまとめた。まとめた自己評価については、職員に報告されている。日々のケアの中からあがってきた課題については、随時話し合い検討している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議のメンバーは、自治会長、ホームの家主、区役所の職員、入居者、入居者家族、ホーム職員となっており、積極的に参加を呼びかけた。現在2回開催しており、会議の場で議題をたて、議題に対して、ホームから説明をしたりメンバーから意見をもらい討議している。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>区役所の民生課の職員の訪問時には、ホームでの入居者の生活状況や相談等をしている。地域包括支援センターには問い合わせがあれば、ホームのパンフレットを送付し情報提供している。</p>		
4. 理念を实践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>家族の来訪時に入居者の状況や様子について説明し、出納帳についても確認してもらっている。「清華通信」を定期的に送付しており、明細書や領収書等も添付されている。家族へは、必要があれば来訪時以外にも電話で報告している。権利擁護を利用している方は、担当者へ連絡している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>以前は意見箱をホーム内に設置していたが、家族は来訪時に直接、管理者に話していることから、現在は設置していない。年1回、家族会を開き意見を聞く機会を設けている。また、苦情相談機関として、ホームの担当者以外に法人の本部事務局相談担当も重要事項説明書に明示している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の退職を抑える予防策として、定期ではないが、個人面談を実施している。また、希望休や休憩時間の確保もされている。法人内の異動は特になく、各ユニットの職員は固定され、居室担当者が決められている。新人職員には、慣れるまで他の職員がフォローし、入居者にダメージが無いよう配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	月に2回「介護保険」「接遇」「記録の書き方」等の法人内研修を実施している。また、リーダーや管理者が対象の研修もある。しかし、研修場所が遠方であることや、職員が休日を利用して参加するという事もあり参加者は少ない。外部研修についての情報は提供されており、職員は希望すれば参加することができる体制となっている。	○	法人内外の研修の機会があり、参加できる体制であることから、今後は職員の参加に期待したい。
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	名古屋市グループホーム連絡協議会に加入しており、研修会や集まりに参加している。法人内では、各ホームの業務報告をし、レベルアップに取り組んでいる。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	家族が見学された後に、管理者は本人と面談をしている。本人に納得して入居してもらえるよう、また、雰囲気に馴染んでもらうよう体験入居を実施している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	入居者の得意なこと、好きなことをレクリエーションに取り入れ、入居者からアドバイスをもらっている。料理を教えてもらったり、味付けをみてもらったり、支援される側ではなく、一緒に学び支え合う関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者とコミュニケーションを取り、言動や表情から本人の希望、意向を汲み取り支援している。誕生会には、本人の希望により好きな献立が立てられ、買物も一緒に行っている。気の合った入居者同士、廊下の椅子で話しをしたり、職員と一緒に玄関の外で会話を楽しんだりしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は、本人や家族の意向を聞き、月1回の会議で職員が話し合い、作成している。入居者に変化があった場合は、直にカンファレンスを実施している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の期間に応じて見直しを行っている。1、2階合同でカンファレンスを行い、現状に即した計画になるよう努めている。入居者に変化があった場合は、随時見直している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>医療連携体制加算を受けており、協力医の往診や看護師の訪問もある。緊急時には、相談できる体制となっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居者や家族の希望により、かかりつけ医の受診は可能である。現在、家族の協力により受診されている入居者もいる。協力医の往診があるほか、朝、夕に看護師の訪問もあり、緊急時には相談や指示を受けている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>「重度化時におけるサービス提供内容についての指針」を入居時に家族に説明している。常時、医療行為が必要な場合は病院でと考えているが、家族の了承が得られればホームでも対応できるよう話しをしている。常に、医師、ホーム、家族の三者の話し合いを大切にしていきたいと考えている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報の取り扱いについては、契約時に家族に説明している。職員には個人情報漏洩防止を徹底するため、入職時に話がされている。職員は日々、入居者と接する際、言葉かけに注意し、プライドを傷つけないよう努めている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースを大切に、決して強制はせず、入居者の希望を聞きながら対応している。朝遅く起きて、居室で朝食をとられた事もある。誕生会には、お酒を飲む事もあり、入居者の希望に沿った支援がされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	調理は入居者と職員が一緒に作っており、配膳や片付けも入居者は積極的に行っている。献立は入居者に確認し、希望を取り入れている。盛り付け等、個人に合わせ食べやすいよう工夫されている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には1日おきの入浴となっているが、入居者の希望により毎日入浴することも可能である。入浴の嫌いな方には、気の合った入居者に誘ってもらうなど、タイミングをみながら支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の用意や片付けをしたり、食事の際のお茶を入れる役割の入居者もいる。食事メニューを書く人、カレンダーをめくる人、メモ用紙を作ったり、雑巾縫い等、入居者一人ひとりに役割を持ってもらっている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	食材の買物には、入居者が順番に出かけているが、行く人は概ね決まっている。雨の日には、車で遠方まで買物に行き、ドライブ気分や、景色を見る事で気分転換してもらえよう努めている。入居者の希望により近所の喫茶店に出かけたり、外食をすることもある。	○	外出する機会は設けているが、外出する入居者が概ね決まっていることから、入居者一人ひとりが外出を楽しめるよう支援の工夫に期待したい。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の鍵は、国道が近いことから安全と防犯のため施錠されている。外からは自由に出入りできるが、中からはリモコンで操作しなければ出ることにはできない。開放したい考えはあるが、以前エスケープしたこともあり現在は施錠している。	○	日中、時間帯を区切る等、安全面に配慮しながら、少しでも開錠できるよう取り組みに期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署に来てもらい、消火器の使い方や消防署への通報の仕方を学んだ。倉庫には、災害時に、飲料水と食料が3日分備蓄されている。	○	火災以外の災害を想定した訓練の実施や地域の人々の協力が得られるよう働きかけに期待したい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本部から郵送される献立表に栄養摂取量が記入されており、これをもとに、ホームで献立を立てている。水分摂取量は1日1500cc位を目安にし、何時でもお茶が飲めるように、ホールにポットが用意されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	気温、湿度の状況によりエアコンで調節し、居室の温度管理をしている。ホールには、季節感がある作品が飾られている。また、旅行や行事の写真も掲示されている。トイレに行く際に、途中で一休みできるよう、廊下に椅子が置かれ入居者は利用している。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはテレビ、冷蔵庫、使い慣れた家具、ベッド等が持ち込まれ、人形や小物で飾られていた。部屋の中で観葉植物を育てている入居者もいる。訪問時に、居室でテレビを見ながら寛いでいる入居者の様子が見られた。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。